情報局編輯
十二月九日・第二百五十號・十七ン

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ゴムが足りない　砂糖が少いと言つて

すぐ南を口にしてはいけない

南方建設はわれわれの生活の中にある

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

ラッフルス博物館に入る

昭南

撮影　陸軍報道班

⇨ 昭南博物館の一隅に鎮座するラッフルス像とその説明書

「サー！スタンフォード・ラッフルス像
本像ハ西暦千八百十七年六月ビクトリヤ女王在位五十年祝典ニ当リ「シンガポール」ノ建設者トシテノ偉大ナル功績ヲ記念シテ現在ノ市政廳前廣場中央ニ建設セラレ其ノ後十九百十九年二月英國ノシンガポール占領百年記念祭ニ際シアンダーソン伯五面廣場ニ移轉セラレタルモノナリ。

イギリス東亞侵略の象徴としてながらくシンガポールのエンプレス廣場に傲然と大英帝國の搾取と繁榮を見守つてゐたスタンフォード・ラッフルスの銅像もシンガポールがわが新領土、昭南と生れ變り、わが大東亞建設の據點としての逞しい鼓動をはじめるとともに、このほどエンプレス廣場の王座から引き下され、イギリス百年の野望とともに一個の記念品として昭南博物館の一隅に仕舞ひ込まれることになつた

スタンフォード・ラッフルスは十九世紀はじめ、スマトラ島ベンクレーンの副總督の時、シンガポールがイギリス東亞侵略に最適の根據地となることを見てとり、ジョホール王から甘言をもつて只同樣の安値で買取つたものである

⇧ エンプレス廣場の王座から引きおろされるラッフルス像

マレー建設に若き現地人指導者

昭南の興亞訓練所

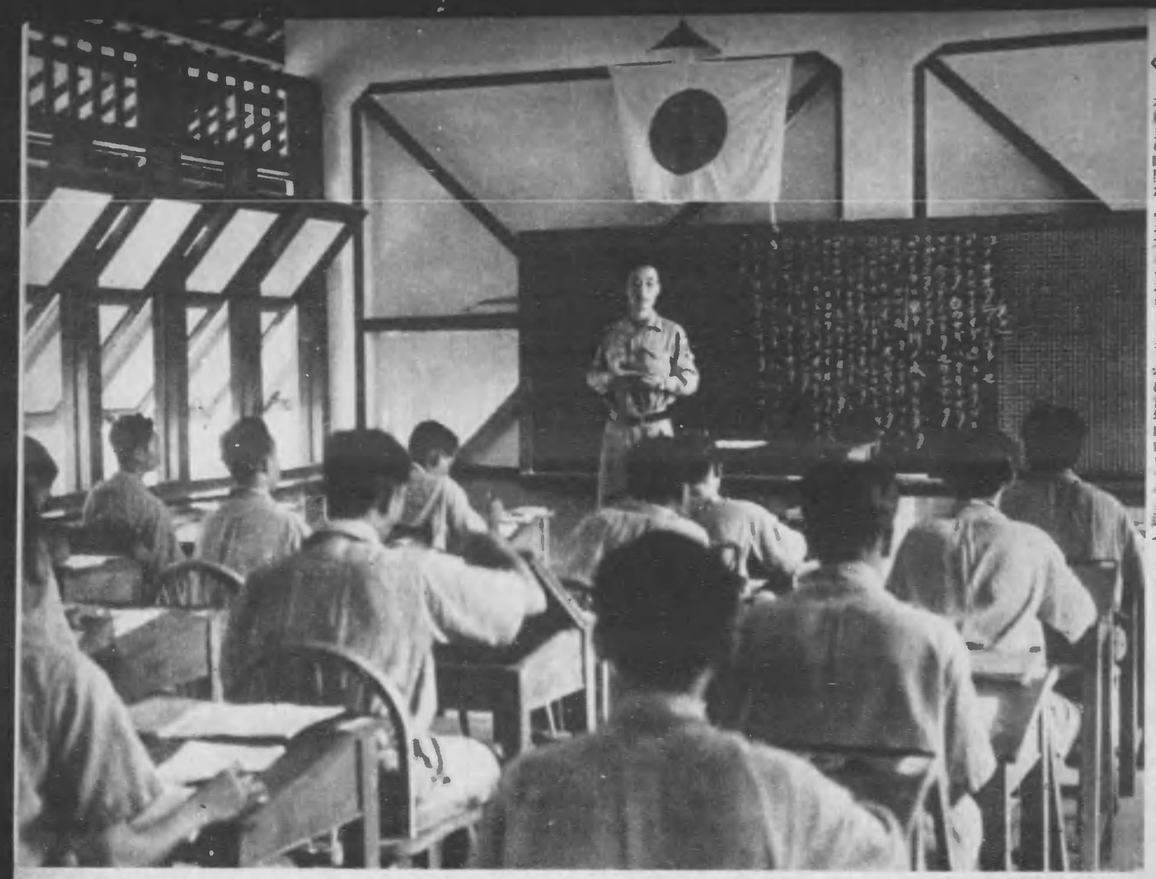
朝晩、國旗掲揚、誇らしい國土の一員としてもり上るこの感激

マレー軍政監部では地方行政の強力な指導者を養成するため、昭南に現地人官吏養成所として興亞訓練所を設け、各州から選抜した優秀な青年を集めて短期訓練を施してゐる

マレー建設の挺身隊として嚴格な考査を通過したこれらの青年たちは、若き指導者としての自負と希望に燃えて日々、わが軍隊式の訓練にいそしんでゐるが、大東亞民族の一員としての自覚と矜持を懷得した彼等が民衆の中に立ち還つて活躍する日こそ、自らの汗の貴さと、建設協力のよろこびを深く味はふにちがひない

撮影　陸軍報道班

⇨ 鍬の持ちかたもまだおぼつかない。しかし汗のよろこびを一日々々解るやうになつて來た



⇨ 日本歴史の時間だ。『オオタムスシノミコト』に青年は白ウキギと遠ふ

⇨ 早い夕食をすませると皆でもう慣れた日本の歌を唄ふ

⇨ 熱帶の陽にはぐくまれて野菜畑も見る〳〵こたつた。自給自足の御馳走の出來る日が待遠しい

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

初めて武器をもつて起ち上つた

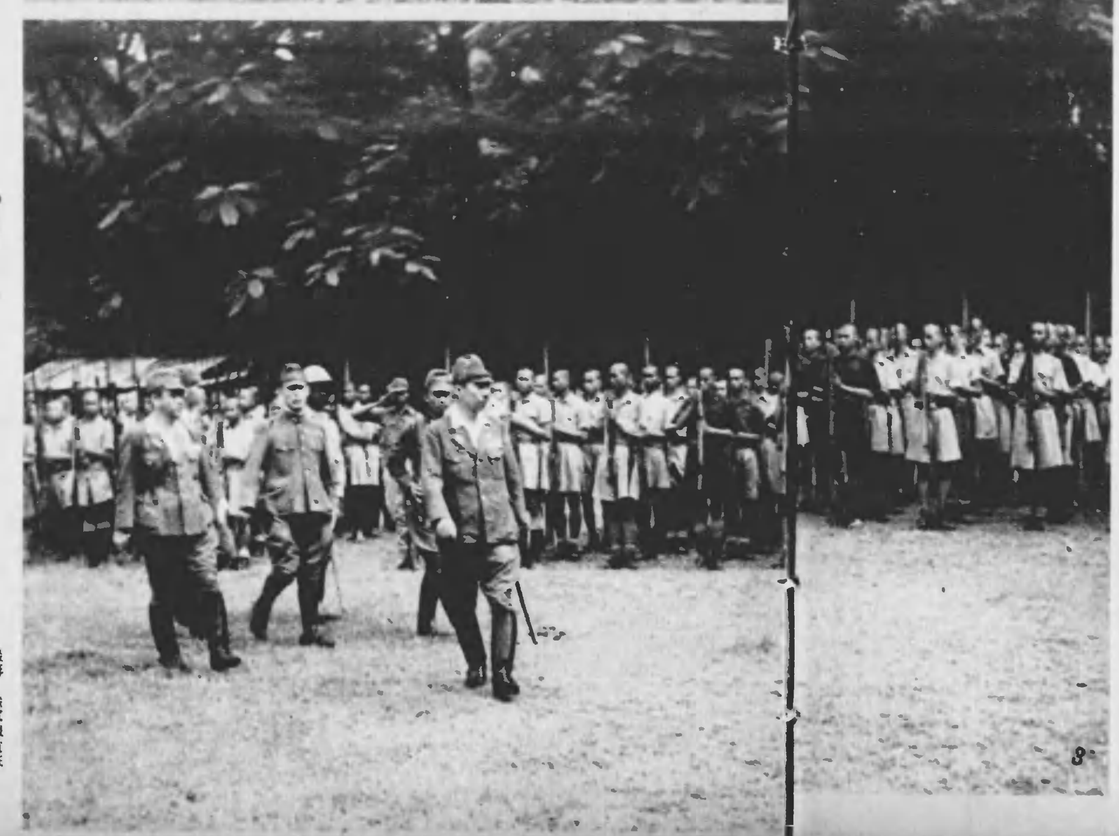
ビルマ防衛軍の日本式猛訓練

去る八月、新生ビルマ行政府の成立に前後してビルマ防衛軍が誕生した。およそ半世紀の間、イギリスのために武器を奪はれてゐたビルマ人が、初めて武器を持つて起ち上ることが許されたのだ

ビルマ防衛軍はビルマの四箇所に兵營を設け、いま日本式の猛訓練をうけてゐるが、八月二十四日にはビンマナに勢揃ひして、飯田最高指揮官から初の閲兵を受くるの名譽を擔つた。防衛軍中佐タキン・オンサンの感激的總指揮によつて行はれた分列式はまさに元氣横溢、餘ふビルマの頼母しさを覚ふに十分であつた

このビルマ防衛軍こそ、わがビルマ作戦中、ビルマ全土にわたつて活躍したビルマ獨立義勇軍（B—A）の組織化された姿に他ならない

『ビルマ防衛はビルマ人の手で』彼等の多年にわたる念願は見事に結實したのだ。いまやビルマ防衛軍は、大東亞共榮圏建設の一環を擔ふ新生ビルマの希望を一つに集めて、わが飯田最高指揮官の麾下に正規軍としての面目に輝いてゐる



1 外出日にラングーン市街を行進するビルマ防衛軍幹候隊

2 ビルマ防衛軍幹候隊に各個教練を指導する桑原勇士

3 新たに麾下に編入されたビルマ防衛軍を閲兵する飯田最高指揮官

4 兵器廠場に寧日なきビルマ防衛軍幹候隊の銃劍術並木訓練

撮影　陸軍報道班

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

近年一歸復アジアの港香

⇨ 總督部でも、下部行政組織の運用には殊に重點をおいてゐるが、地區事務所、區役所は民衆のよき相談所として大繁昌

⇨ 警備隊の勇士も、警備や練武の小閑を利用して菜園を作り、食糧の自給自足を實行してゐる

香港の治安はきはめてよく、政治的犯罪などは起つた例がない。十月末、在支米空軍が、數回に亘つて香港を爆撃した時なども、最初の一回こそ、慌てて門を閉めたり、食糧の買溜めをしたりした者もあつたが、第三回あたりからは警報下、完全に當局の治安維持に信頼してゐた。香港が戰前、抗日の本據であり、現在でも政治的謀略に長けてゐる重慶政權が絶えず目をつけてゐることを考へ合せると、なれは全く驚異に値ひする

經濟的にも、市民生活に密接な關係をもつてゐるガス、水道、電氣事業などは戰後まもなく回復し、またビール、マッチ、麻、綿織物等の輕工業も、邦人の進出を待ち、或ひは華人の經營で多數操業を始めてゐる。殊に戰前、その規模の雄大さを誇つてゐた港灣、倉庫、鉄道などの貿易施設が、完全に大東亞共榮圏内の物資交流に役立つのも間近く、既に廣東との間には相當多額に及ぶ交易が行はれてゐることが注目される

その他、文化、衛生または住民の生活態度などにおいても、戰後、素晴らしい更新ぶりを示し、健全なアジア復興への途を辿つてゐるが、約一世紀にわたるイギリスの壓政から解放された住民の安居樂業が、重慶政權下にある西南支那の住民に及ぼす影響は頗る大きく、支那事變の解決促進に果す香港の役割は見逃せない

★ ★

⇦ かつては英政府や重慶の逃方もないデマ宣傳に惑はされてゐた住民も、現在では大東亞戰爭の戰果や建設の進行について正しい報道が與へられてゐる

⇦ 碼頭工場は、戰前の生産能力をとりもどしてゐる。華人工員は優秀な船舶用器具の製造に大意

⇦ 英政府時代は全然顧みられなかつた農村方面も、總督部の農村復興政策に依然活氣を呈し、農民も自給自足を目指す增産に勤んでゐる

ガヨ族にも皇恩浴く

スマトラの建設すゝむ

軒並に並べる日章旗にメダンの街に燕と輝く

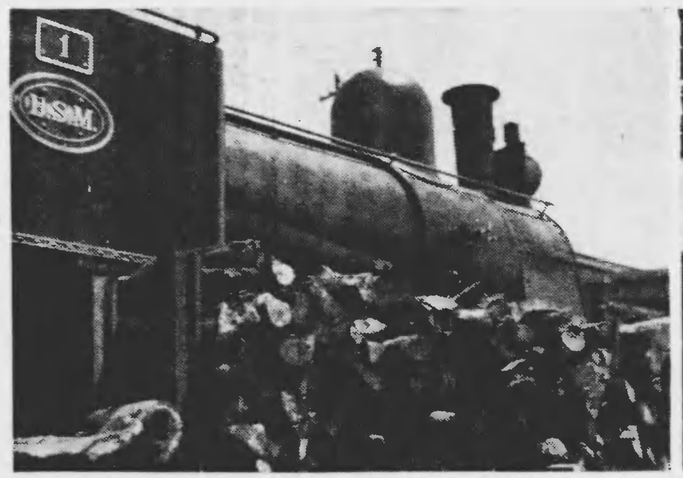
露天市場に集つたガヨ族の顔にも平和な生活を繋し行くことの喜びと信頼が浮かぶ

南方占領地中、未開の寶庫として最も有力な一環であるスマトラも、すでに着々と本格的建設の歩をすゝめてゐる。行政區域としてはマレー軍政管下に屬し、一ケ年推算四千餘万ギルダーの豫算で産業建設、土木復舊等の生産方面に重點をおいて支出し、約八百万のインドネシア人をはじめ、支那人五十万その他、混血人、第三國人等と言葉や習慣を異にする複雑な民族も、皇軍の一視同仁、ひとしく大東亞民族の一員としての取扱に渾然として融和協力してゐる。殊にインドネシア人の協力態度は積極的であり、蘭印軍討伐後の全島の治安には、何ら心配するところはない。かうした情況の下に石油の、石炭の、金の、ゴムの重要國防資源の島スマトラは、棉花や、麻や、さらに將來、より以上の未開發資源の開發によつて、南方の寶庫としての眞價をあれ〳〵に見せてくれる日も近いことであらう

撮影　陸軍報道班

スマトラの鐵道はこれからが建設だ。たゞ鉄道はせつせと興亞の精神を人々に説いてゐる

原住民宣傳班員の呼びかける一語一語が集つてきた民衆の胸にくさり〳〵と突きさゝつてゆく。こゝに軍民一體の熱意が湧き上るのだ



⇨珍らしく日の丸の旗と日本字の標札の下に立つ被等。これはもはやまぎれなく皇軍である

⇦この信號器の横文字もいづれは村民さんよう。止れ、進めの信號に原住民達は朗らかに指揮されてゆく

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

⇨ アンボン港に集つた邦人の漁船群
撮影　佐伯海軍報道班員

⇨ はるばるバンダ海に餌を求めてアンボンに寄いよ沖縄の漁船

南方に大漁旗

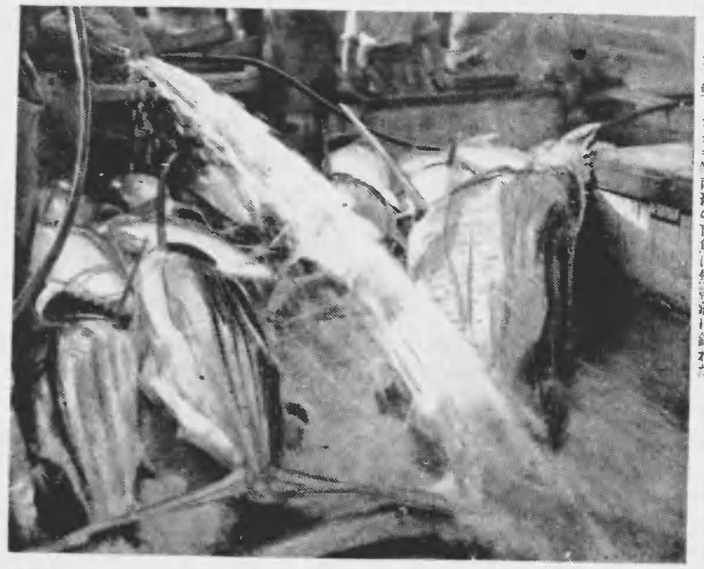
南方占領地は、石油ゴム資源とともに水産資源の寶庫でもある。鮪が、カジキが、鰹が無盡蔵に釣れる

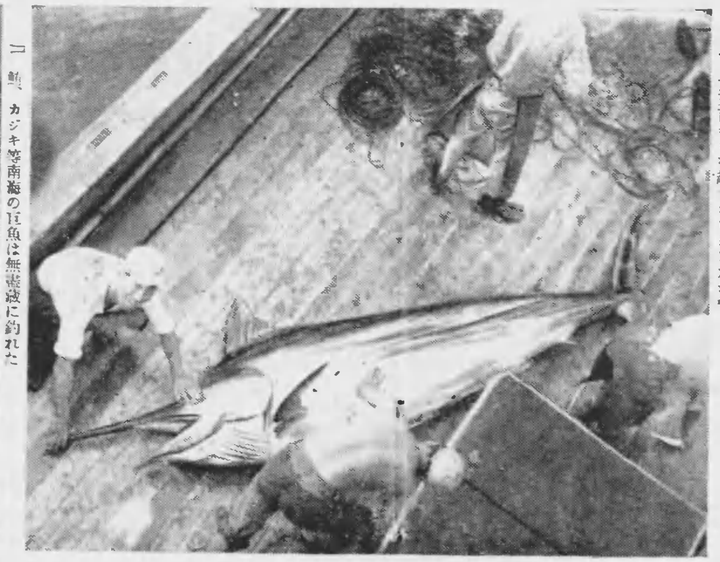
バンダ海の有數漁場を控へたモルッカ諸島アンボン港には、いま邦人漁船が蝟集し、時には敵機を頭上に迎へても平氣なもので、バンダ海を縦横に釣りまくつてゐる

大體、南方漁業は、戰前から邦人の活躍舞臺であつたが、その漁場が、晴れてわがものとなつた以上、いまこそわが漁船は、雄にもはじかちず日の丸を押し立てて、陣の構成に歩調を合せて水産資源の獲得に萬丈の氣を吐いてゐる

鮪漁船團の餌獲作業

⇦ バンダ海は魚で埋つてゐる。釣れたこと、全長三メートル強もあり、目方三百キロを超すシロタツカジキ





⇦ 鮪、カジキ等南海の巨魚は無盡蔵に釣れた

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

ビルマ題三

ビルマ派遣陸軍報道班員
北林透馬

ビルマといふ名

ビルマといふのは、無論、ヨーロッパ人が勝手につけた名で、この國自身の本來的なものではないし、緬甸といふ文字は、これはまた支那語で、遠い片田舎といふほどの意味ださうだから、無論、この國の人々をあまり喜ばせる文字ではないだらう。それならば、ビルでもなければ、マでもない、緬と甸とを組み合せた支那語を、わざ〳〵ビルマと讀む意味も必要もないわけである

この國の人は、自分たちではミャンマと呼んでをり、これは『素走ッこくつて強い』といふ意味だ、といつてゐる。店の看板にもこの文字を使つてをり、新聞の題字にも使つてゐる。僕たちもこの國の人たちに話す時には、なるべくこの言葉を使ふやうにしてゐる。彼等が喜ぶからである

同樣にラングーンといふのも、英國人がつけた名前で、本來的にはヤンゴンであり、これは戰爭の終結、つまり勝利を意味する言葉だといふ。してみると、この言葉に仰光といふあて字をした支那人は、ちよつと氣がきいてゐる、といへるではないか

ミャンマはミャンマで好いと思ふが、もし強ひて漢字を當てようといふのなら、どんな文字が好いだらう。美矢馬なら、矢は武器のシンボルだし、馬は走つこいし、つまり美しくて、強くて、走つこいといふことになつて、いくらかミャンマの意味になりさうにも思へるが、これはまた國學者諸氏にでも、あらためて考へて戴くことにしよう

挨拶と禮儀

挨拶といふもの、言葉は無論だが、元來がさういふ觀念自體が、この國には無いのではないかと思ふ

マバ、エ、ラ、略してマエラといふ言葉があつて、『今日は』といふ意味に使はれることがあるさうだが、僕の少い經驗では、實際にそんな言葉で呼びかけられたことがなく、殆んど挨拶らしいものを受けたことがない

情報小隊で前線に出てゐた時も、僕らが設營してゐると、ときゞ〳〵その部落の有力者といつたやうなものが、訴へやら、陳情やら、或ひはまた敬意を表しにやら、二、三人でやつてくることがあるが、そんな時のその人たちの態度といふものは、日本流に表現すれば、まつたくもつて橫柄極まるものなのである

案内も乞はずに、いきなり宿舍へはいつてきて、無遠慮にじろりと見まはし、一番偉さうな人間のところへ行く。大抵は、肩章に金筋のある將校の前へいつて、此方ぶすはつてゐれば、どかりとすはり、立つてゐれば立つたまゝで、いきなり話しかける

『自分はこゝから二哩ほど離れたところに住んでゐる者だが、日本の兵隊の警備が嚴重で不便で仕方がない。道を歩く許可證か、證明書を書いてくれ』

なるべく住民に、不自由や不便はさせないといへば、決してさうではなく、大きな西瓜などたくさん擔がせてきて

『欲しいもの、不足なものがあつたら、いつて下さい。何でも、私の持つてゐるものなら日本軍に差上げます』

などと申出てくる時も、態度は同じであり、呉れ〳〵いへば、實に氣前好くあつさりと呉れて、決して恩に着せたやうな顏はしないのである

一體に、何事に對しても、あつさりと恬淡なことは事實であり、これはやはり、現世を假りの世とみる、といふ佛教の考へ方が觀念の基準的なものを形造つてゐるからでもあらうか

> 新らしき防人は歌ふ
>
> 幼きも老いもをみなもほゝ赤みつ歸る牛車に明るし日の丸
>
> ラングーン情報部　鈴木中尉
>
> めぐりきて淵邊に憩ひながむれば遠きパゴダの暮色にはゆる
>
> ビルマ派遣軍陸軍兵長　大隅重雄
>
> 征かむかな如何に山路のけはしくもすめら御國のつはもの我は
>
> ビルマ派遣軍陸軍兵長　秋山隆義
>
> 天地の神も慟らせわれもはや世界史創る防人なれば
>
> マレー派遣軍　軍曹　乾福藏
>
> 雨すゞて色あらたなるゴム林にマレーの子らの聲たかまりぬ
>
> マレー派遣軍　陸軍伍長　黄馬隆

文字遊び三日坊主

坊さんのことをボンヂといふ。坊主といふ字を當ててみると、この言葉と文字の間に、何かの連結がありさうに思へるのだが、或ひは何の關係もないかも知れない

坊さんは、黄色の衣を着てゐるが、これがタイでは純粹に黄色であり、ビルマでは著るしく赤味を帶びた黄色である。殆んど褐色に近いのもあり、さういふ色の布を、斜めに肩から身體に卷きつけ、日が照つて暑い時には、殘つた布をぐるりと頭へまはして、頭布のやうに包んでしまふ。確かに、日本にあるダルマの風貌であり、こゝでは生きたダルマさんが、たくさん街を歩いてゐるのである。この坊さんの態度がまた傲然たるもので、初めて見たものは大抵腹を立ててしまふ。挨拶をしないのは無論であり、此方から先に挨拶をしかけた場合にも決して挨拶を返さない

お寺へ行くと、佛さまの前に大胡坐をかいてゐるが、時々は寢てゐることもあり、僕等が入つて行つて挨拶しても、起き上りもしないのが普通である。絶えず口をモグモ

のりたふ
印度人

てに近附路三又マチキブ

重庫山景　陸軍少將

一

ダさせて、何か喰べてをり、ときゞ〳〵傍の壺を引寄せては、ペッペッと唾を吐く。住民はその前に小さくなつて坐つてをり、鞠躬如といふ感じで固くなつてゐるのを見ると、まことにこれも變な氣持のものである

ビルマに生れた男子は、誰でも一度は出家して坊主にならねばならず、その期間が長ければ長いほど、後に社會に出てからの信用が增すのだと聞いたが、僕の部屋へ遊びに來るビルマ少年の一人もまた、或る時

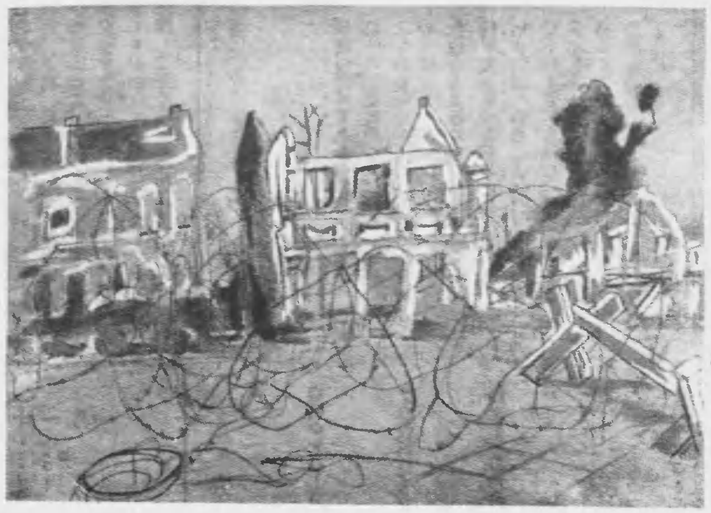
『明日、坊主になる式をやるから來て下さい』

と言つてきた

その日は丁度、他に用事があり、行けなかつたのだが、それから四、五日して、またその少年がふらりとやつてきた。どうした、坊さんにはならなかつたのか、と訊ねると、笑ひながら帽子を取つて見せた。奇麗に頭を剃つた青坊主である

『三日だけ坊さんになりました。それで好いのです』

三日坊主、といふ日本の俗諺があり、物ごとの長つゞきをしないことに使はれてゐるが、ビルマでは三日だけ坊主になれば、それで男子の義務を果したことになるらしいのである



ブキテマ三叉路
從軍畫家　藤田嗣治畫

一

シンガポール島を眼前に望み、部隊は決河の如くジョホール水道に殺到し、企圖を秘して渡河準備に沒頭してゐた時、部隊に二人のインド人を使用した。その名はルシン、コンダユヤといつた。どちらもがつちりとした體格で頭にはインド人特有の布を卷き、顏にはひげを生やし、人のよさうな眼を浮べ、絶對に我々を信用してゐることは早くから見受けられた。早速、この二人は、丁度人員に不足してゐた引田伍長の分隊の使用人となつた

敵に豪語せし要塞だ。敵にしても、さう易く破れる筈はない。上陸成功の安堵も束の間、銃砲撃による猛烈なる反撃に遭つた眞夜中の上陸點は無氣味に薄暗い。敵の砲彈は間斷なく炸裂する。部隊の集結も容易ではなかつた。二人のインド人も初めて受ける砲撃には瞬間たじろいだが、分隊を離れてはならじと、しつかり引田伍長にひつついて動かうともしない。そればかりか分隊の前進路の偵察にまで身をもつてゆかうとするではないか。既に兵隊と生死を共にする覺悟はできてゐたのだ。月明を利する部隊の攻撃

日を經るに隨つて、よくなつき、ますゝ〳〵よく働き、その忠實さは全く部隊の人氣を背負ひ、分隊にはなくてはならぬ存在となつた。わけても同分隊の坂根上等兵、前島上等兵には最もよく親しみ、よき主人として手足のやうに立働き、人手少き分隊も彼等の力を得て、前にも倍して活躍することができた。滿を持したジョホール水道の强行突擊上陸は、見事敵の虚を衝き無血上陸に成功した。しかし、敵は牙城と恃み、しかも近代裝備を施した英國が中外に、敵も反撃の術なく退却を開始し、部隊は追撃にうつつた。彼等の目にも漸く安堵の色が見えたが、その心はいよ〳〵强く最後まで兵隊と共にやり通す固い決意にもちてゐた

二

シンガポールが近くなるにつれて、敵の反撃はますゝ〳〵物凄く、死物狂ひの抵抗は日を追つて激しく、砲撃の雨は間斷なく身邊に炸裂するが、彼等は身の危險を忘れ兵隊をかばふのであつた

忘れもせぬ紀元節の夜、ブキテマ三叉路東南側附近に集結した部隊に對し、敵の砲撃はいよ〳〵激しく集中された。その砲撃はマレー戰線において、未いまだにかつて經驗せざる程最も猛烈なものであつた。兵隊は皆砲撃の間隙を利用して壕を掘り續けたが、彼等も負けずに作業した。引田伍長の掘らうとするエンビを取つて、通じないながらも手招きもつて、あぶないから出てはいけないと引田伍長を、既に掘つた壕に入れ、自分等は身の危險をも顧みず炸裂する砲彈の雨中にあつてエンビを動かした。他の兵隊が代つて掘らうと云ふのも制し、兵隊を壕の中に押しやつて、なほも掘り續ける。勇士にも劣らぬ雄々しい姿だ

兵はみな驚數の眼を瞠つた。瞬時に數發の敵彈が寸前に炸裂したと同時に、彼等は兵隊をかばはんものと、何の掩護もなき所に兵隊の上にかぶさり、身をもつて危急を救つた。我が身は如何ともなれ、兵隊だけは救はんとするけなげな、しかも忠實な氣持の程はその動作に十分に知られた。その猛烈な砲撃によつて、日頃最も親しんでゐた一人の前島上等兵は遂に敵砲彈を身に受け、壕の崩れと共に埋つたが、餘りの瞬時の出來事に誰しも知るものはなかつたが、そ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

れとなく揺つた彼等は、前島上等兵のもとに走り寄り、倒れた上を手でかき上げ、前島上等兵の繃帯を引出した。それによつて初めて前島上等兵の死を知つたのである

三

一晩中間断なき敵の砲弾も翌朝になり漸く下火になつた時、戦友以上に可愛がつてゐた前島上等兵のなきがらに取りすがつて泣いた。部隊は前進のため前島上等兵のなきがらを葬つて出發したが、彼等は何時までも墓の前を離れようとはしなかつた。

昨日に引換へ主人を失つた彼等は、唯シンボリとして元氣はなく、盲人が杖を失つた如く深く考へては、ため息をついてゐた。しかし、その日はなほ〳〵この分隊に不運が續いた。一時洋上にしてゐた敵の砲弾は又もや猛烈を極めて來た。運悪くその一弾の弾片は、日頃最もよく可愛がつてゐた坂根上等兵の腹部を直撃した。アッと思ふ間もあらばこそ、一言も洩らさずして護國の英霊と化し去つた。分隊員の驚きはさることながら、彼等の驚きはまた如ばかりであつたらう。墓柱の前に彼等はひざまづき、生ける人に呼びかける如く『マスター坂根、坂根』と呼び續け、何時までも涙を止めなかつた。

戦友はお互に死線を超越せる骨肉の情に結ばれてゐるが、この二人のインド人にも肉親以上の情があつたに違ひない、眼は男泣きになきはれてゐる。何んといふ〳〵でんな奴等だらう。出來得たならば遺骨を抱いて泣きたかつたに相違ない。引田伍長の胸に捧じた遺骨に對し、幾度となく涙の礼拝を繰返した。お互、部下を失つた思ひと主人を失つた思ひとは、おのづと一つの如く、引田伍長の顔にも悲壮な色がうかゞはれた。かくてさしもの砲撃も、我が猛攻に抗し得ずして降伏し、全く戦雲は彼方へ去つて行つた

軍醫われ

（陸軍軍醫少將）許山 整

にはかにも空晴み來てゴム林の
緑一しほきはだちて來ぬ
漸くに手紙は來たり手に持ちて
開かむまゝをしばし楽しむ
我が看るは二百の兵の生命かも
この一人をも死なしたくはあらず
意のまゝの藥なければ我が持てる
リンゴを二つ食はしてやりぬ
傷者なき行軍をつゞけ軍醫われ
大き生甲斐を感じつゝ居り

あした

（陸軍看護婦）池田桃枝

—自由詩—

靜謐の野にまろらかな氣粒が燿ひ
椰子の葉揺に乘つて運ばれる朝
はらからの血もて購ひし新らしき神
の上に立ち
生命あるよろこびに深き呼吸する
過ぎた日につながる何物もなく
いき個遠への遥しき經緯を見る
滅び行く舊殿庁への掃蹟が教會の
失塔にかゝり
豊かな芳香もてひろごる民族の矜り
清新な心象を傾け今日ひたぶるなつ
とめに生きよう

☆南方雜詠☆

（陸軍軍曹）村瀬清一

宿營のたのしさに在り雨期の雷

（陸軍軍曹）森谷米光

夕立の雲ひくうしてパゴダ立つ

（陸軍曹長）安富一等兵

薫風や牛の群追ひてビルマの子

（陸軍中尉）萩森一歩

脩焔なほつきざる町やおぼろ月

（陸軍中尉）野間元誠次

炎熱やほとりに消えゆく戦車群

大東亞戰爭日誌 —十一月—

十六日 ●南太平洋海戰の戰果に關し、その後の詳報により調査の結果、左の如く判明

一、敵艦船　撃沈、戦艦一隻、航空母艦エンタープライズ、同ホーネット、大型航空母艦一隻、巡洋艦三隻、驅逐艦一隻。大破または中破、艦型未詳三隻、驅逐艦三隻

二、敵飛行機　敵上空空戦により撃墜せるもの五十五機以上、味方上空空戦並びに艦隊砲撃により撃墜せるもの二十五機、その他、敵航空母艦沈没に伴ふ喪失機數を合し總計二百機以上

（註）ミッドウェー強襲において撃沈と發表のホーネット型はヨークタウンなりしこと、またエンタープライズ型は損傷を受けたること、並びに珊瑚海海戰において撃沈と發表のヨークタウン型は特設航空母艦なりしこと判明

十八日 ●十二日以來戰闘續行中の帝國海軍部隊は、十三日夜間ガダルカナル島敵航空基地を猛撃、飛行場及びその施設に大損害を與へ、さらに翌十四日敵機の猛烈なる反撃を排除しつつ味方輸送船團を護送中、同日夜間同島の西北方において戦艦一隻、大型巡洋艦四隻以上を基幹とする敵増援艦隊に遭遇、これと激戦の結果、その補助部隊の大部を潰滅し、戦艦二隻に重大なる損傷を與へ、南方に敗走せしめた。現在までに判明せる十二日以來十四日までの綜合戦果並びに我が方の損害

一、艦船　撃沈（巡洋艦八隻（うち新型三隻、うち五隻轟沈）、驅逐艦四隻乃至五隻、輸送船一隻。大破、巡洋艦三隻、驅逐艦一隻乃至四隻、輸送船三隻。中破、戦艦二隻

二、飛行機　撃墜六十三機、撃破十數機

三、我が方の損害　戦艦一隻沈没、同一隻大破、巡洋艦一隻沈没、驅逐艦二隻沈没、輸送船七隻大破、我飛行機三十一機自爆、九機未帰還

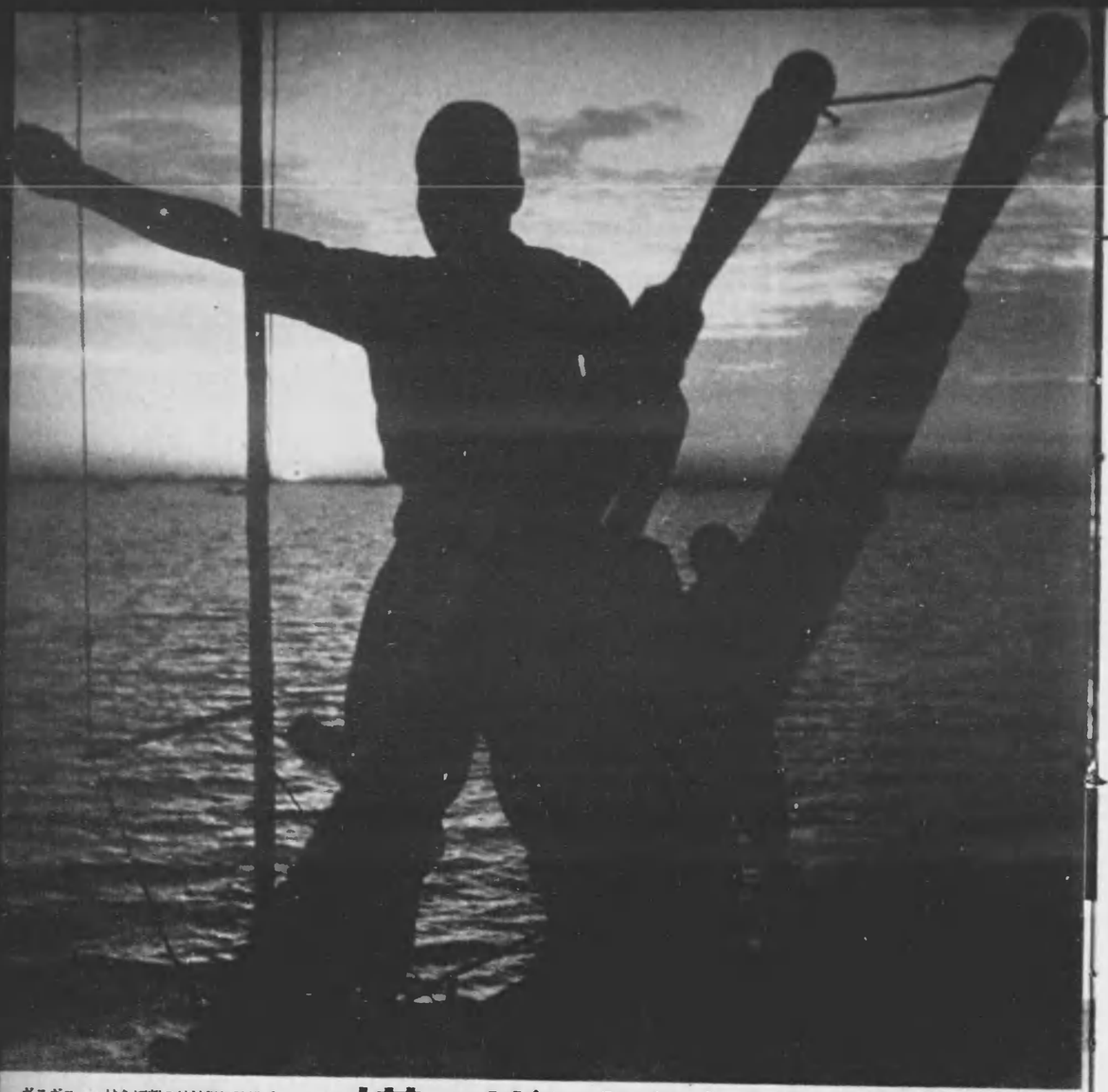
二十八日 ●第三次ソロモン海戰において、その後の詳報により更に左の戦果を收めしこと判明

（一）十二日夜戦において、わが艦隊は敵巡洋艦三隻を撃沈、驅逐艦三隻を中破　（二）十四日夜戦において、我が艦隊は敵戦艦一隻を撃沈、戦艦一隻を大破（沈没ほゞ確實）なほさきに發表の敵戦艦中破一隻に改む

●第三次ソロモン海戰の綜合戦果中、艦船の部を左の通り改む

撃沈　戦艦二隻、巡洋艦十一隻、驅逐艦三乃至四隻、輸送船一隻

大破　巡洋艦三隻、驅逐艦三乃至四隻、輸送船三隻　中破　戦艦一隻、驅逐艦三隻



中支の輸送路水を護る

帝國海軍警備隊

大東亞戰爭は南方ばかりではなく、支那の戰野においても激しい戰ひが續けられ、また獣々と逞しい建設が行はれてゐる

中支の水路を護るわが海軍警備隊の勞苦をとゝに紹介してみよう

昔から支那には南船北馬といふ言葉があるが、これは支那の交通機關を説明した最も適切な表現句である。南船の中支においては揚子江を中心として、その支流を利用し、或ひはクリークを開いて湖水に連なる大小合せて縱横に走る水路が全く網の目のやうな觀をなしてゐる。そしてこの水路を利用してゐる船舶は、大は數千トンの荷物船から小は小型ジャンク、サンパンに至るまで一日に莫大な物資と人間を輸送し、各輸送任務を完うしてゐるのであるが、この水路も平和な、完全な水路であつてこそ、初めて利用され目的も遂せられるのである

しかし、いままでこれらの水路は決して安全な輸送路ではなかつた。何故ならば、敗戰にあへぐ重慶軍は小賊にも、遊匪を指揮蠢動させ、或ひは遊擊隊を編成してわが軍占領地の後方攪亂を企て、良民の金品を掠め、或ひは物資を滿載した良民の輸送船團を襲擊し、平和であるべき水路の治安を亂し、帝國の目的である平和確立の事業を妨害するのである。これらの暴擧を未然に防ぎ、日夜安全な平和な水路として護つてゐるのが、わが海軍警備隊である

海軍警備隊は、この意味で、どんな細い水路にでも警戒網を浸透し、輸送船團の護衛に、水路の調査に、物資の不當搬出を行ふジャンクの臨檢に、殘敵の掃蕩に、また時にはクリーク沿岸の良民に宣撫米の配給を行つたり、施療班を出動させ、溫い手を差しのべたり、和平樂土の建設に人知れぬ努力を續けてゐる

ガスガス……けちぼ朝の地泊似江子揚
狭は員隊備警てつ毀杯一鉤を風朝いし
寸ば伸を足手分存ふ思らか活生内紙い

⇧

撮影　海番海軍報道班員

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

中支の輸送水路を護る

⇧ 警備艇から本部への勝利に戦況の報告を運ぶ場

水路を航行するジャンクの臨檢 ⇩

遊匪は良民に混つて後方を攪亂する。不逞分子はないか、良民證の有無を領事館で檢査する ⇩

敗走する敵を捕捉殲滅する上陸作戦が決行された ⇩

警備のいかめしい兵隊さんも子供たちにかゝつては良き友達だ。ラヂオンは大好かい？ ⇩

前方〇〇メートルの敵、打方始メ！待ちに待つた敵影を發見、一齊に火蓋を切る ⇦

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

大東亞一齊にラジオは叫ぶ一二三

フィリピンでも香港でも、ジャワでもグァムでも、またビルマでも、いまラジオ體操は内地同様、健民運動の第一線です

『昇る朝日の光をあびて……』

盟主日本から放送される明朗なラジオ體操の歌聲は、この廣大な共榮圏の各地域を結びつけて、いまや文字通り大東亞は一つに、力強い體育演練をくりひろげてゐます

電波がまきちらす希望と健康の贈物―やがて見るからに輝々しい原住民たちの體位も、かうしたラジオ體操の普及によつて、建設と躍動を一つに盛り上つてゆくことでせう。まこと共榮圏の確立はラジオ體操からといふところです

グァム

さん〜たる熱帯地の朝日をあびて、芝生一杯に躍動するグァムの子供たち。伸びゆく大東亞の象徴です

東京

さすがは本場の東京です。ラジオ體操は東京からと、お蔭休みの日比谷公園で、共榮圏にお手本を示す市民の見事な體操會

ヤビタバ

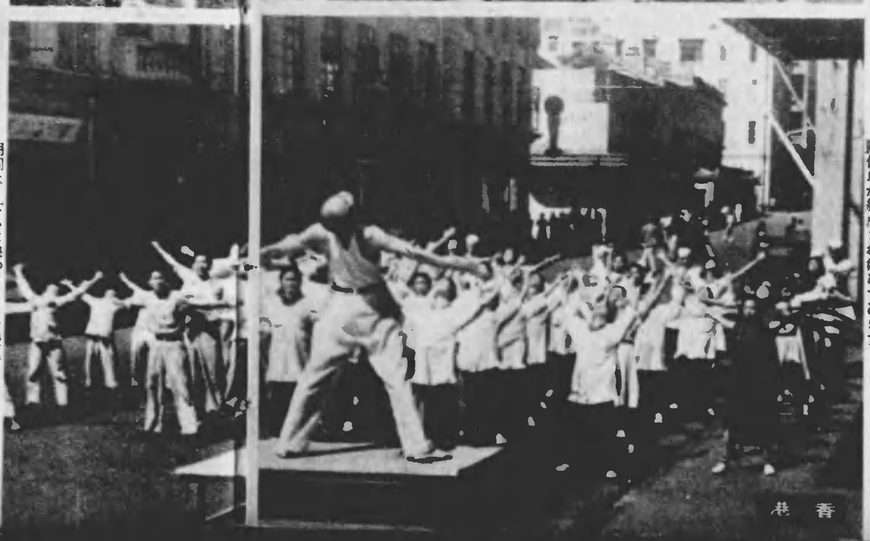
東京の放送局から派遣されたラジオの小父さん酒井電話の熱心な指導で、バタビヤの子供たちも溌剌と。もう内地の皆さんより上手かも知れません

マニラ

フィリピンでもラジオ體操は小學校の兒童や會社、工場の從業員等の間に日課として盛んに續けられてゐます。もうとんなに上手になつたマニラの小學校兒童たち

ラングーン

明朗なリズムに乘つてラジオ體操を樂しむビルマの娘さんたち。共榮圏空の文化はこゝにも美しく花を開いて……


香港

日華仲よく明朗の體育常會。これまで個人主義生活に立籠つてゐた香港にもラジオ體操を仲介に續々親睦が結成され始めてゐます

「皆さん、早うございます。さアけふも元氣でラジオ體操をいたしませう」インドネシア放送員ユマリ・ウイルヨディノロさんの通譯でラジオ體操がはじまりました。この聲が、このリズムが共榮圏の隅々まで――東京中央放送局の對外放送室

内閣情報局

★ ★ ★ ★

情報局國民映画参加作品

「ハワイ、マレー沖海戰」

東寶作品

大東亞戰爭の緒戰において世界を震撼せしめ、輝々たるわが戰勝を導いたものは、ハワイ真珠灣に米太平洋艦隊を撃滅し、マレー沖海戰に英東洋艦隊の主力プリンス・オブ・ウェールズ及びレパルスを海底に葬り去つたわが海軍部隊の攻撃によるものである。

本映画は、ハワイ海戰及びマレー沖海戰において示したわが海軍航空部隊の壯烈なる攻撃精神が培はれる航空部隊員の補充時代から米英撃滅に至るまでを劇化したもので、大本營海軍報道部企畫、海軍省後援により、無敵海軍航空部隊の眞姿を如實に描いてゐる。

記録映画「東洋の凱歌」

比島派遣軍報道部製作

わが比島攻略は敵が最後の據點としたのだバタアン半島及びコレヒドール島の完全占領によつて全く成つた。多年驕慢不遜、比島原住民並びに在留邦人等を苦しめ來つた米軍の敗退と皇軍の進駐により、米英の植民文化の浸潤に自らの生活と意識を失ひつゝあつた比島民は、今や新生比島の再建に新らしい希望をかけて、過去の遺弊を棄て、大東亞共榮圏の一員としての比島建設にいそしんでゐる。

本映画はわが比島派遣軍のバタアン、コレヒドール攻略戰におけるめざましい奮戰の狀況と新生比島の輝かしい黎明を迎へて、起ち上る比島民の姿を決死的に撮影し、大東亞共榮圏の眞姿を如實に描いてゐる。

★表紙

昭南は南方の玄關だ。洋式から純日本式に作り改められた玄關は木の香も新らしく日本色豊かにすく〳〵と伸びてゐる。この新らしい空氣の中に生きる現住民を取締る警官はとくに共榮圏の指導者として特別の訓練が必要だ。さすが警官にならうとする昭南の現住民たちは新らしいこの意氣を眉宇に示し猛訓練を受けてゐる。

撮影　陸軍報道班

復習室

本誌からあなたは何を學んだでせうか。

1 スタンフォード・ラッフルズとは（　　）アメリカのフォード自動車會社の社長？ レンダ（　　）を東亞侵略の手始としたイギリスの植民地？ 英國シンガポール（　　）司令官？ 日本がビルマ（　　）防衛のために武器をとつて起ち上つたのはいつの頃でせう？ （6頁）

2 ビルマ人がビルマ（　　）のマレー政府？ ジャワ軍政下？ ガヤネス軍政下？ （12頁）

3 スマトラの行政はいづれの軍政管下に施してゐますか。 （11頁）

4 ミャンマーといふ國があるさうですが、南洋の小國？ アメリカ軍が不法侵入した北アフリカの傭獄民族？ ビルマ人はビルマ（　　）をかう呼んでゐる。 （12頁）

5 明治に偽裁判所といふのがありますが、これは何をするところでせう？ 現地獄道日本人の指導者が偽裁判所を受けるところ？ マレー、南洋から選抜された青年を集めて現地人官吏を養成するところ？ （4頁）

6 ビルマの視察について「朝夫、眼を縮じ日本語の『ムダ』早やう」といふやうなことをさふ。 和手の鼻の頭をつまむ。 殆んど視察をしない？ （14頁）

7 スマトラ島住民の一番數の多い民族は 支那人？ インドネシア人？ 混血人？ スマトラ人？ （12頁）

8 男と生れた以上、一度は必ず出家しなければならない國があります。 ビルマ？ アフガニスタン？ 女（　　）？ タイ國？ （15頁）

9 「日ー」と「日」は何でせう？ 「故郷局」「國民新聞」「國立義勇軍」？ （11頁）

10 ペナントの重要資源？ ゴムもあります？ （12頁）

一問十點としてあなたは何點でしたかか？

海軍關係寫眞の複寫複製は海軍省承認濟（第五二四二號）

本誌前號第三十六頁の記事中『三月十五日第二次戰勝祝賀の日』とあるは『三月十二日戰勝祝賀の日』の誤りにつき訂正いたします

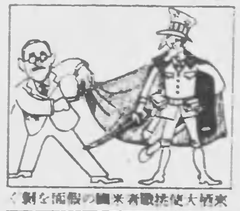
大東亞戰爭漫畫日誌

石川進介

戰果は輝ける第二次ソロモン海戰

空の軍神育つての若鷲英印機撃滅

米兵もデマ放送で敗戰いたる



英米大使抗戰著米國の假面を剝ぐ

英蘭北印で強盜搾り利權奪ひ

蘭印の石油を全國民に分配する

照準器

五十年後の大東亞

⇨ 國民學校の訓練愛情足

小貝紫郎

先生「本日の航空訓練の目的地、ジャワ第一の繁榮ボロブウールの上空へきました。さア、先生に續いて降下して下さい」

⇧ 花嫁南へ行く

森熊猛

「新郎がバタビヤにゐるので向こうで式をやらうと思ひまして――いやも防衛ハ若い時分陸軍部隊の一人と聲援――た古戰場を訪ねてこようといふ寸法でありまして、ワッハッハッハッ――」

⇨ 昭南港名物 銀貨拾ひ

南義郎

「イギリス人よりアメリカ人の方がうまいさうだナ」

「それもカンタンだ――アア宝籤の方が上手だ」

⇧ 大東亞戰爭 現地博物館

杉証夫

「エー――これが米軍海ラトガ、左手奥の方に見えますのが有名なるプリンス・オブ・ウエールズ、いづれも海中から引揚げたものでございます」

「室には内地からの寄中別車が續々到着」

南方特急旅行

西塔子郎

彈丸列車で大陸縱つて昭南へ

田の序に遊覽バスで戰跡巡り

パリ島の働き者の女たちに日本の新素質が大旋行

朝りは超大型飛行艇でその日のうちに内地へ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

寫眞週報 昭和十七年十二月九日 第三種郵便物認可 昭和十七年十二月九日印刷納本 毎週一回水曜日發行 定價一部十錢 (送料一錢)

大東亞戰爭國債

郵便局賣出

十二月七日～十八日

大東亞戰爭第一周年記念

敵の感激を債券へ國債へ

大藏省

第六回

戰時 貯蓄報國 債券

賣出 十二月七日⇨一月七日

寫眞週報（慶轉載）

昭和十七年十二月九日印刷發行

編輯兼發行者 情報局 東京市麹町區永田町一ノ一

印刷兼發行者 內閣印刷局 東京市麹町區大手町

定價

一部十錢（送料一錢）

（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）

▲滿約配送御希望の方は一部十錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所

全國各地官報販賣所

書店・驛賣店

新聞販賣店

寫眞材料店

本誌を戰地にお送りになる場合には送料は內地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば一部一錢です

(1)寫眞週報は本書の大きさはA4判規定號

內閣印刷局印刷發行